

二〇二六年度 大学院(修士課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本史学専攻)

(科目名:古典漢文)

2025 年 9 月 13 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(一) 次の史料を読んで設問に答えなさい。

永承七年壬辰、正月廿六日癸酉、屈請千僧於大極殿、令転読観音経、自去冬疾疫流行、改年已後、弥以熾盛、仍為除其災也、今年、始入末法、

(中略)

(永保元年九月)十五日戊戌、未時、山僧引率数百兵衆、行向三井寺、重焼残堂僧房等畢、云、堂院二十处、経藏五所、神社九处、僧房一百八十三处、但舍宅不注載之、不知其数幾千而已、門人上下各皆逃隠山林、或含悲入黄泉、或懷愁仰蒼天、今年入末法、歴三十年矣、
(扶桑略記)

問一 全文を読み下し文(漢字かな交じり文)に改めなさい。

問二 全文を現代語訳しなさい。

問三 右の史料に記載された「末法」は、その後の文化にどのような影響をもたらしたか、説明しなさい。

(二) 次の史料を読んで設問に答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(御当家人令案)

問一 本史料の一か条目・二か条目を読み下し文(漢字かな交じり文)にしなさい。

問二 本史料の三か条目から五か条目までを現代語訳しなさい。

問三 本史料を含めて、貞享二年(一六八五)から宝永五年(一七〇八)にかけて出された一連の法令を何と呼ぶか答え、それについて説明を加えなさい。

問四 この法令の出された前後の時代の文化の特色について、説明を加えなさい。